

自彊前進

題字 西村直子

NO. 33 令和5年11月10日(金)

新潟大学附属新潟中学校 学校だより

文責 教頭

※ 自彊前進…自ら努め励み、前に進むこと

(校歌3番の文言から)

2学年リーダー研修会

一昨日2年生を対象に、「リーダー研修会」が行われました。講師として、横越中学校校長：倉澤秀典先生からご講義をいただきました。倉澤校長先生は、ご自身が附属新潟中学校の卒業生であり、教諭としても当校でご勤務され、それこそ研究主任としてリーダーシップを発揮されました。

倉澤先生は、リーダーシップについて研究をされており、「PM理論」についてお話されました。PはPerformance（目標達成や課題解決を担う役割）を、MはMaintenance（集団の人間関係維持を担う役割）を表します。この2つの役割を両立させられるのが優れたリーダーの要件となります。

Performanceの強いリーダーとMaintenanceの強いリーダーは主に次のような行動をとります。

| Performanceの強いリーダー | Maintenanceの強いリーダー |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none">・ 目標やビジョンを示す・ 目標達成の手段を示す・ 目標達成に向けメンバーを叱咤激励する・ 自分の考えをしっかりとつ・ 力強い態度、周りが従う | <ul style="list-style-type: none">・ 他人に興味を持ち、みんなのことを考える・ 仲間のお話をよく聞き理解する・ 仲間に声をかける、心配する・ 困っている仲間を助けるために努力する・ 仲間の頑張りを受けて賞賛する |

興味深いのは、利潤を追求する企業においては、短期目標ではPが強いリーダーの方が目標を達成しやすいが、長期的にはMが強いリーダーの方が目標を達成しやすいということです。学校においても、Mの要素はとても重要で、日常的な声掛けや人間関係づくりがとても大切になります。右表のように、学校の教育活動では、「全員発言」や「ときわ体育祭でW優勝！」等、日常と行事においてたくさんの目標をたてます。しかしながら、最も大切な目標は、「個の成長」であり、「集団の成長」なのです。日常や行事での課題解決等が目標なのではなく、生徒一人一人が自分の成長だけでなく、仲間の成長を願い、互いの成長を喜び合うことなのです。

2年生はとても興味深そうに、真剣に倉澤先生のお話を聞き、質疑の時間もすべての生徒に答える時間を設けることができず、終わった後も、倉澤先生を囲み、お話をしている生徒の姿がありました。生徒会役員選挙を控えたこの時期、とても有意義な会となりました。倉澤先生ありがとうございました。

フォロアーシップとは？

| | 企業 | 学校・学級 | |
|--------------|--------------------------------|---|-------|
| 最終目標 | 企業の発展 | 個の成長 | 集団の成長 |
| 短期目標 | 生産性の向上 | 体育祭での優勝 演劇や合唱の成功 | |
| リーダーとメンバーの役割 | リーダーはメンバーの力を発揮させ、メンバーはそれについていく | メンバー一人一人が自分と集団の成長を願う仲間であり、リーダーは成長の実現に向けたまとめ役。 | |

一人一人が自分・仲間・集団の成長のために何をするかが大切。リーダー任せでは成長はない。⇒フォロアーシップ

